



山腰 恵一 議員

低炭素社会に向けた 環境づくりを

地球温暖化対策の一環として市が導入した電気自動車（EV）

【問】低炭素社会における温室効果ガス削減のために、今後の普及に向けた取り組みは。

【答】市民の皆様への普及啓発へ向けて活用したい。また、中山間地域での実証実験を行い、活用モデルとして検討していきたい。

【問】観光都市として、公共の施設や駐車場への急速充電器設置や、民間企業への充電器設置補助でインフラ整備の推進としては。

【答】インフラ整備は大切な環境整備であり、観光都市として全域的に観光できるよう、隣接する自治体や民間の事業者と連携して誘客につなげていきたい。

高山市の住宅工口推進補助制度

【問】制度は7月末で終了したが、交付件数・金額と経済効果について伺いたい。

【答】平成22年の補助実績は、件数で1249件、金額は1億5033万2千円。本年度10月末までの申請件数は1475件、金額は1億9074万9千円。補助対象の総工事費は22年度で約21億円、本年度10月末までの申請分で約24億円であり、相当の経済効果があった。

【問】国の制度復活を受け、景気対策の一環として早期実施と補助額の拡大をすべきでは。

【答】助成制度については現在検討中。

うつ病対策

【問】うつ病への「気づき」や正しい知識普及の取り組みは。

【答】うつ病予防講演会やこころの健康相談会の開催、睡眠への知識普及などメンタルヘルスへの重要性を伝えていきたい。

【問】健康診査時に、こころの健康問診コーナーを設けてストレスチェックを実地しては。

【答】うつ病早期発見のための簡易検査方法が、国の自殺総合対策にて検討されている。



市が導入した電気自動車



中蔵 博之 議員

大学誘致・大学連携 で元気な高山市を!!

行政の情報発信

【問】次期の情報化計画策定は。

【答】情報環境と市民ニーズを捉えながら策定作業を進めている。

【問】市のホームページをリニューアルする予定は。

【答】平成26年度末までにとりあえず総務省指針に基づき検討したい。

【問】市民の声を反映させるツールとしてフェイスブックやツイッターを活用しないか。

【答】外国語の観光ページで導入しているが、他分野への拡大は慎重に検討したい。

【問】公共施設に無線LANスポットを整備しないか。

【答】情報通信環境の変化を考慮する中で検討したい。

【問】支所地域のブロードバンド環境整備について市長の方針は。

【答】公的支援の方法について民間事業者と協議し、早い時期に結論を出したい。

選挙について

【問】下呂市では投票所を大幅に減らすようだが高山市の考えは。

【答】これまでに検討した経緯はあるが、国の通知もあり統廃合については慎重に検討する必要があると考えている。

大学連携について

【問】大学誘致・連携について市長の考えは。

【答】地域経済の活性化や文化力・地域力の向上などメリットが多く、大学連携を切り口として誘致につなげた

い。現状は厳しいが積極的に取り組みたい。

【問】大学連携の現状は。

【答】松本大、岐阜経済大、岐阜大、名古屋芸術大と連携協定を結んでいる。

【問】名古屋芸術大との連携による市民ミュージカルは、新しいまちづくりモデルを予感させる。高山に進出を希望する大学はないのか。

【答】現状、具体的な打診は無いが、実現可能なアプローチと情報発信に努めたい。



大学連携による市民ミュージカル